

医王病院ニュース

患者さん一人ひとりに寄り添い、心のふれあいを大切にし信頼される医療を目指します。

迎春

兼六園（金沢市）

冬号
第44号

平成30年1月31日発行

新年挨拶

西棟が完成・稼動しました

看護部だより 新病棟へ引っ越しました

栄養管理室だより 栄養管理室、厨房移転について

デイサービス 新・デイサービス 引っ越し完了！！

薬剤科 薬剤師高橋優の明日はきっといい日になる

院内学習会を立ち上げました

石川県立医王特別支援学校

外来担当表、病院案内図、編集後記

新年挨拶

医王病院院長 駒井 清暢

まずは新年おめでとうございます。謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年の医王病院は、9月に金沢大学脳老化・神経病態学（神経内科）の山田正仁教授を会長、私を副会長として第5回日本難病医療ネットワーク学会学術大会を開催しました。幸い全国から約400名の難病医療関係者の参加があり、活発な発表と意見交流の場となっただけでなく、大変大きな刺激を医王病院職員にももらうことができました。今年は、10月26日と27日に第5回筋ジストロフィー医療研究会を医王病院が主催することになっていますので、多くの関係者の参加を期待すると同時に、医王病院がさらにステップアップする研究会にするべく職員が協力して準備を進めています。

昨年度から私達の国立病院機構全体は経営上の課題が浮上し、投資の抑制や適正化などの、厳しい運営環境が続いています。しかしながら、医王病院は一人ひとりに寄り添って信頼される医療を提供するという理念を大切に、これまでの安定した経営基盤を活かして、地域の拠点病院としての役割を充実させる年にしたいと思います。皆さまにはより一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

この冬は金沢市でも30cm以上の積雪を観測しました。これは2012年2月中旬以来、また昨年12月の30cm以上の積雪は2005年以来とのことでした。2005年は二つの国立機構病院が合併して新生医王病院の誕生した年でもあります。いま厳しい冬の気候と運営環境にさらされていることを、自省と変革を促すメッセージと捉えるべきなのでしょう。自然現象にはあがないきれませんが、冬に多いインフルエンザやノロウイルス感染症には予防や感染拡大を防ぐ準備はできます。冬期感染症に限らず、何事にも準備を怠らず、常に自らを革新できる医王病院であることを、新年を機にもう一度肝に銘じたいと思います。

本年が皆さまにとって素晴らしい一年になるよう心からお祈り申し上げます。どうか本年も医王病院をよろしく願い致します。

西棟が完成・稼働しました

企画課 業務班長 鈴木 正弘

2016年3月から始まった建て替え工事により2017年10月には西棟が完成し、10月18日に患者さんの移転も無事終わりました。

西棟はデイサービス部門、栄養管理部門、病理部門、病棟、エネルギー管理部門等が入っています。

1階南側にデイサービス、栄養管理部門を、北側に病理部門を配置しています。

新しいデイサービスのホールは前より広く明るく、過ごしやすくなっています。

2階の小児科・神経内科病棟60床は、明るく開放的で、プライバシーにも十分に配慮した構造で、病室はベッド周りもゆとりのある設計となっています。石川県立医王特別支援学校へも渡り廊下で行き来が出来ます。

3階のエネルギー管理室は設備関係の運転を行うとともに防災関係の監視を行います。

また、サーバー室を配置して電子カルテや院内電話の電子設備などを設置しています。

工事期間はまだまだ続き2020年3月までを予定しております。工事期間中は建設車両の往来や騒音などでみなさま方に多大なご不便、ご迷惑をおかけいたしますが、何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

デイサービス



第1病棟病室



新病棟へ引っ越しました

1病棟 看護師長 森本千鶴子

1病棟は、10月18日（水曜日）に西棟にある新病棟に引っ越しました。

1階にはディサービスと栄養部門があり、2階に新1病棟があります。病室は個室が8室、観察室（2床）が2室、4人部屋が12室の60床です。ナースセンターはオープンカウンターで開放的、病棟全体が明るく落ち着いた雰囲気になっています。旧病棟では設備が古くて十分な入浴介助ができなかった浴室は、一人で入浴できるユニットバスと介助が必要な方の特殊浴室があり、それぞれ入浴を楽しんでいただけるようになりました。

工事中は建物ができあがるのを楽しみに見ていましたが、完成が近づくにつれ無事に引越しできるのか不安になりました。しかし事前に患者さんやご家族に個人の荷物整理や箱詰めなどの準備して頂けたこと、そして当日は医師、コメディカル、MSW、事務、看護部から大勢の方が応援に来てくださったおかげで事故もなく予定時間より早く引越しを終えることができました。

お忙しい中、協力してくださった皆様に感謝申し上げます。

2か月が過ぎ、ようやく建物の構造や医療機器類に慣れて落ち着いてきました。この新しい病棟でこれまで以上に患者さんに寄り添い、信頼される看護ができるように頑張っていきたいと思います。



栄養管理室、厨房移転について

栄養管理室長 倉野 正志

平成29年10月19日栄養管理室と厨房は同じ敷地内の西棟1階に移転しました。

新厨房になった一番の変更点はオール電化厨房になったことです。これにより、ガス漏れによる重大な事故のリスクが回避され、安全な業務を可能としています。ガス機器から電気機器になったことにより、ほとんどの機材が一新されました。

調理機器をみるとLEDである発光スケルトンのIHコンロ、加熱食材を急速冷蔵するブラストチラー、調理済食品の保管を可能とする真空調理機を導入しました。

【IHコンロ】



【ブラストチラー】



【真空調理機】



衛生面では手指衛生・除菌を可能とする酸性電解水装置の設置、毛髪・塵埃を除去する取るミングにより厨房に異物を持ち込まない衛生管理を可能としています。

栄養管理室の目標である『安心安全な食事の提供』を実現する最新の厨房へと変わり、栄養管理室一同、感謝の気持ちとともに今後もより一層の衛生管理に努めていきたいと思っております。

【取るミング】



【電解水手洗いセット】



新・デイサービス 引っ越し完了！！

保育士 川邊 祐樹

真新しいピンク色の床に鮮やかなライトグリーン天井、そしてどこまでも続くような広々とした空間。大きく開く扉が利用者様を迎え入れ、暖かな雰囲気の中へと誘いこんでくれます。新しいデイサービスの誕生です。

昨年10月、たくさんの思い出が詰まった旧デイサービスとお別れをしました。旧デイサービスでは、最後に室内の壁に思い思いのメッセージを書き残し、なかなか出来ない体験に利用者様も喜んでおられました。

そして、10月13日に新デイサービスへと引っ越しをしました。



引っ越し当日は、デイサービスを休業日とさせて頂き、作業は病院の事務職員の方や療育指導室の方の応援もあり、滞りなく終わることができました。皆様のご協力に感謝するとともに、職員の連携の素晴らしさに誇らしさを感じました。

新しいデイサービスに初めて来られる利用者様やご家族様は、口を揃えて「わ～！広い！」と驚きの声をあげ、またその表情からは、これからどんなに楽しい日々が待っているのか、という期待も感じ取れました。そんな期待に応えられるよう、利用者様にたくさんの安心と笑顔を届けられるようなデイサービスを作っていきたいと思えます。また、せっかく頂いた新しいデイサービスを大切に、愛情をたっぷり注ぎながら日々を過ごしていきたいと思えます。



薬剤師高橋優の明日はきっといい日になる

薬剤科 調剤主任 高橋 優

皆さんはこちらのポスターを見たことがあるでしょうか？
 そうあの有名なガンダムです。「アムロいきまあーす」等の名言もありますよね。私個人としてはシャアが好きですが・・・(笑)

こちらのポスターは厚生労働省から薬剤耐性(AMR: Antimicrobial Resistance)対策の啓発のために作成されたものです。

ここで皆さん薬剤耐性(AMR)って何？って思われますよね？

薬剤耐性とは抗菌薬が効きにくくなる、または効かなくなることです。現在、抗菌薬が効かない菌(耐性菌)が世界中で増えています。この耐性菌が増えると、抗菌薬が効かなくなる。つまり今までは感染、発症しても適切に治療すれば軽症で回復できた感染症の治療が難しくなって重症化しやすくなり、さらには死亡に至る可能性が高まります。

特に免疫力の弱い乳幼児や妊婦、高齢者、また、持病を持つ人は、感染症にかかると重症化しやすいため、耐性菌が広まり使用できる抗菌薬が減ると、命の危険が高まります。薬剤耐性(AMR)の拡大防止は、人類にとって非常に重要なことなのです。

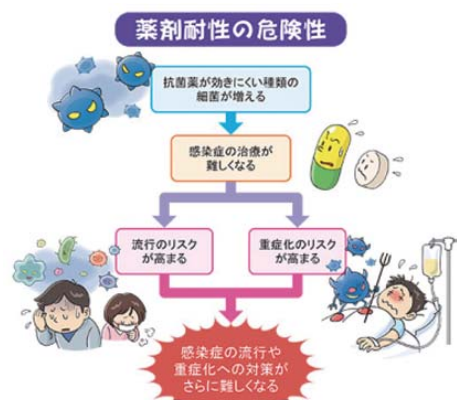
それでは薬剤耐性(AMR)の拡大を防ぐにはどうすればいいのでしょうか。

薬剤耐性(AMR)の拡大を防ぐためには、感染症にかかり抗菌薬を必要とする機会を少なくすることや感染症を周りに拡げないようにすることに加え、医療の現場で、ウイルスによる感染症を始めとして、必要のない抗菌薬を処方しないという取組が重要です。そのためには、医師に自分の症状を詳しく説明し、医師が適切な診断を下せるようにしてください。

それと同時に、私たち一人ひとりが抗菌薬を適切に使用することも重要です。

例えば、「この薬は必ず5日間、飲み切ってくださいね」と医師から指示された薬を、症状が軽くなったからといって途中で止めてしまったことはありませんか？また、「1回2錠を飲んでください」などと指示された薬を、勝手に1回1錠に減らして服用したことはありませんか？

医薬品は、医師や薬剤師の指示から外れた使い方をすると、十分な効果が期待できません。特に抗菌薬については、こうした不適切な使い方をすると新たな耐性菌が出現するリスクが高まります。薬剤耐性(AMR)の拡大を防ぐためにも、抗菌薬を服用する際は、医師や薬剤師の指示を守って、必要な場合に、適切な量を適切な期間、服用しましょう。



薬剤耐性(AMR)の拡大を防ぐには

抗菌薬は、医師や薬剤師の指示を守って使いましょう

- ・勝手に途中で止めない
- ・勝手に量や回数を変更しない

※変えたいときは、必ず医師に相談を

(政府広報オンライン一部抜粋)
 (機動戦士ガンダム ©創通・サンライズ)

院内学習会を立ち上げました

医王病院呼吸ケア学習会 IOU hospital Respiratory Care Café (IRCC)

特定看護師 慢性呼吸器疾患看護認定看護師 副看護師長 吉田 幸

現在私は特定看護師として、院内で活動しています。患者さんとご家族の御理解を頂き、在宅訪問で呼吸ケアも行っています。今回は院内学習会の取り組みについてお話しさせていただきます。

当院では10年前から呼吸ケアサポートチームがあり、委員会活動として院内で呼吸に関する学習会などを行ってきました。その委員会活動とは別に1年間を通して継続的に呼吸に関する学習会のコースを企画したところ、病院の全面的バックアップのもと、26名の志望者があり、先日、学習会の説明会を開催しました。

この学習会の目的は呼吸に関する知識や技術を高め、より患者ケアに活かすことのできる人材を育成することです。そのために座学のみでなく実際に人工呼吸器を装着してみるなどの日頃経験できないような体験を多く取り入れていきたいと考えております。

受講生は院内の様々な部署から参加していますので、呼吸ケアを通して話し合える仲間になっていければと考えています。そして患者さんの呼吸が苦しいときや、人工呼吸器を装着されているときに、より適切で安楽なケアが提供できる医王病院の心強い仲間となっていけるよう企画をしていきたいと考えています。

医王病院呼吸ケア学習会
愛称: IOU hospital
Respiratory care Café (IRCC)
日時: 月1回から2回、年12回程度、18時から1時間程度
場所: 呼吸障害治療研究室 (旧1病棟2階)
1月から実施していきます。初回は顔合わせ程度です
1月11日(木) 16:30から30分程度。
参加について: 全シリーズ参加してもらいたいこと。商標で患者さんケアに役立てたいなど思っている方、認定看護師や呼吸療法士などを考えている方でも構いません。
一緒に学んでいきませんか?
コース責任者: 吉田 幸 総括: 田上 教朗



IRCCのロゴマークはIの部分に肺の絵があり、CCの絵には互いが和気藹々と学習できるように、という意味が込められています。



入院中の子どもたちも 継続的な教育が受けられます！

- 石川県における病弱教育を担う特別支援学校は、医王特別支援学校（及び小松みどり分校）です。
※病弱教育とは、何らかの病気により長期にわたって医療（入院・治療）を要する子どもたちへの教育です。
- 医王特別支援学校は、隣接する医王病院に入院しながら教育を受けることができる県立の学校です。
- 個々に応じて、学習空白や遅れを補う教育をしていきますので、安心して入院し治療できます。
- 医王特別支援学校には、小学部、中学部、高等部、分教室、病院訪問教育があり、希望に応じて進学・就労などの進路指導も行っています。

< 医王特別支援学校の様子 >

教育の日講演会

11月7日(水)教育ウィーク学校公開の一環として、隣接の医王病院より第4診療部長 丸箸圭子先生をお招きして「重症心身障がい児の医療と教育」の演題でお話をうかがいました。

本校以外からも5名の参加者があり、わかりやすく心に響くお話は、今後の実践に役立つとても有意義なものでした。



お楽しみ会

12月13日(水)「おつかれ～」の会と題して、ニューヨークカップケーキ作りを行いました。焼きあがったカップケーキには、それぞれが思い思いの材料を使ってデコレーションしました。最高においしかったです！



冬のお楽しみ会



12月13・14日(水・木)各病棟で行いました。サンタとトナカイを先頭に、教員たちが音楽隊を結成！「聖者の行進」を歌い踊りました。恒例のカード交換とプレゼント、記念写真で盛り上がりました。病院スタッフの皆様ご協力ありがとうございました。

ここでは紹介しきれなかった行事、授業の様子などがたくさんあります。日々の児童生徒の授業、行事の様子や自然に囲まれた校舎の様子などを学校ホームページで紹介します。

「石川県立医王特別支援学校HP」は、
<http://www.ishikawa-c.ed.jp/~iouxx>
パソコン、携帯電話等からご覧いただけます。
ぜひご覧ください！



～ 外来診察のご案内 ～

【診察時間】

午前	診察受付/午前 8:30～11:30 診察時間/午前 9:00～正午
午後 (小児科のみ)	診察受付/午後 3:00～ 4:30 診察時間/午後 3:00～ 5:00 (予防接種の方は午後 3:00～ 4:30) ※午後の一般内科は休診です

【休診日】土曜・日曜、祝日

●小児科外来担当

	診療科	月	火	水	木	金
午前	一般	中村	山田真	梅	丸箸	大野
午後	一般	脇坂	西田	藤田	山田晋	横井

●内科外来担当

	診療科	月	火	水	木	金
午前	一般内科	高橋(1.2.4.5週) 本崎(3週)	田上	池田	高橋(2週) 本崎(1.3.4.5週)	田上
	神経内科	朝川	駒井 本崎	石田 高橋	駒井・池田	石田
	呼吸器内科		田上			田上

●皮膚科

	診療科	月	火	水	木	金
午前	皮膚科	楠木	楠木	楠木	楠木	楠木

●専門外来(要予約)

- <小児心身症> 関・大野
- <言語> 中村・脇坂・横井
- <発達/神経/てんかん> 辻・脇坂・横井
- <重症心身障害児> 丸箸
- <筋ジストロフィー> 大野・脇坂
- <肥満> 山田晋

～ 患者さまの権利と義務 ～

患者さまは誰でも人間としての尊厳を大切にされ、医療を受ける権利を有します。また、医療は患者さまと病院職員が、お互いの信頼関係に基づき共に作り上げていくものです。したがって患者さまには医療に積極的に参加していただくことが必要です。

当院はこのような考えに基づき、下記の「患者さまの権利」を尊重して医療を提供いたします。また患者さまは「患者さまの義務」を果たされるようお願い致します。

患者さまの権利

1. 患者さまは良質な医療を公平に受ける権利を有します
2. 患者さまは病気に関する情報や検査・治療についての説明を聞き、自分の受ける医療を選択できます
3. 患者さまは個人情報保護される権利を有します
4. 患者さまはいつでもカルテ開示を求める権利を有します
5. 患者さまはいつでもセカンドオピニオンを求める権利を有します

患者さまの義務

1. 患者さまには病院の諸規則を守る義務があります
2. 患者さまには自ら病気を治そうと努力し、また病気に関し病院職員の指示を守る義務があります
3. 患者さまには他の患者さまの治療や検査、快適な療養生活に支障を与えないように配慮していただく義務があります
4. 患者さまには当院での入院治療が必要でなくなった時には退院頂く義務があります
5. 患者さまには医療費の外、利用契約に基づく一部負担金などを支払う義務があります

医師および医療従事者の権利

医師および医療従事者は、自らの良心や医療倫理に相反することに対して、患者さまからの要求があっても拒否する権利があります

《編集後記》

近年の雪の量に油断していたところに数年ぶりの大雪に見舞われ、職場でも家庭でも雪対策におおわらの毎日です。新聞記事にもありましたが、家の前の生活道路もデコボコ状態で、車の運転中に2回ほどヒヤリとする場面があり、改めて雪道運転の難しさを感じました。

冬はまだまだこれからで、今後もまとまった降雪が続くと見込まれますが、雪道運転では急のつく操作をしない、除雪時は落雪や腰痛に注意して、気持ちよく春を迎えたいですね。

職員募集

詳しくは人事担当までお問い合わせください。



独立行政法人 国立病院機構 **医王病院**

〒920-0192 金沢市岩出町二73-1 TEL.076-258-1180 FAX.076-258-6719 <http://www.hosp.go.jp/iou/>

●交通アクセス

- ・JR金沢駅よりJRバス(福光行、田ノ島行、中尾行)で30分、医王病院前下車
- ・IR森本駅より徒歩15分 ・北陸自動車道 森本ICより車で5分 ・山側環状線より車で5分

■発行者 医王病院 ■発行人 駒井清暢 ■発行日 平成30年1月31日 ■印刷所 株式会社ハクイ印刷

この広報は高精細340線で印刷したものです。



この印刷物は、E3PAのゴールドプラス基準に適合した地球環境にやさしい印刷方法で作成されています
E3PA:環境保護印刷推進協議会